

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第30回）議事概要

1. 日時

令和8年1月27日（火）13:30～15:30

2. 場所

AP東京丸の内Aルーム（オンライン併用）

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

川澤 良子（Social Policy Lab 株式会社 代表取締役）

小田部 典子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）

古米 弘明（中央大学研究開発機構 専任研究員（機構教授））

矢野 奈保子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

4. 開会

議事に先立ち、吉川理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

(1) 前回議事概要の報告について

(2) 令和7年度上半期の一者応札・応募案件について（抽出審査1件）

(3) 令和7年度上半期の随意契約について（抽出審査2件）

(4) 令和7年度上半期の特例随意契約について（抽出審査2件）

(5) 令和8年度における特例随意契約の実施（事前承認）について

(6) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の報告について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和7年度上半期の一者応札・応募案件について

令和7年4月1日から令和7年9月30日までに契約締結した案件のうち、前年度（複数年契約を行っている案件については前回契約）に引き続き一者応札・応募となった案件（29件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1（令和7年度気候変動適応推進に向けた情報収集整備支援業務）

- 総合評価落札方式の入札において、担当者の実績、能力、資格等に係る評価基準については、限定的なものにならないように工夫すべき、また、提案内容によって業務の質が大きく変わり得るような場合は、技術点で明確に差が付くよう、適切な点数配分に努めること。

(3) 令和7年度上半期の随意契約について

令和7年4月1日から令和7年9月30日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（76件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査2（令和7年度 多成分ガス分析計 1式）

➤ 特段の指摘事項なし。

○抽出審査3（実験動物飼育管理等業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

(4) 令和7年度上半期の特例随意契約について

令和7年4月1日から令和7年9月30日までに契約締結した案件のうち、特例随意契約案件（69件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査4（令和7年度閉鎖性海域における水環境の気候変動影響監視・適応支援システムの開発・現場実証試験業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

○抽出審査5（令和7年度地域における未来資源循環施設計画の策定支援ツールの開発業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

(5) 令和8年度における特例随意契約の実施（事前承認）について

事務局より資料に基づき説明が行われ、令和8年度の特例随意契約の実施について承認された。

(6) その他

- ・ 次回の委員会は6月ごろに開催予定。
- ・ 事務局より、議事概要、一者応札・応募等事案フォローアップ票及び特例随意契約事案フォローアップ票について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページにおいて公表することを報告した。